

レベルアップ現代文 第1講

はじめに

「必須現代文」の内容を、より実践的に！

○論説文・批評文（ちよつと復習）

説得の過程を追う

筆者の主張を読みとる方法

ポストモダンの思考

弁証法的な論理の構築

「同義語」「類義語」と「反意語」

「一般化」「抽象化」と「具体化」

では、さらに突っ込んで……

もう少し細かく「読解方法」を考えてみよう

① 評論・論説の基本は「対立構造」

・ () しては評論にならない

・ () するだけでは説得できない

↑

「反対の反対」は「賛成」！

② 「分析」と「総合」の関係

- ・まず細かく分ける作業の意味
- 「まずは、混沌から整理（認識）へ」

- ・整理された断片を組み立て直す

「ジグソーパズルの作成」



もとのデザインとは違うものができる

③ 「疑問（提起）」↓「検証」↓「判断」

- ・「判断」の積み重ねで「主張」へ

- ・三段論法とのかかわり

AはBである

BはCである



- ・「対偶」って知っていますか？

④対立軸の設定

「ボーダーレス社会」と「ナショナリズム」

「メディアの発達」と「真実の喪失」

⑤「アンチノミー」と「パラドックス」

「矛盾」と「逆説」

典型的な例文を考えてみよう

好むと好まざるとにかかわらず、われわれは環境保護の世紀を生きなければならぬ。しかし、それにもなつて生じる強制的エコロジー思想が、国家や国家連合にとって、ある種の独裁制を樹立するためのきつかけを与えてしまう危険性がある。